

7 月豪雨災害にかかる活動報告

1 高知県の被害状況（平成 30 年 7 月 24 日 9:00 時点 こうち防災情報より抜粋）

市町村	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部	床上	床下	公共	その他
県全域	3	0	0	1	11	55	26	169	659	1	46
安芸市					3	32		1	16		26
南国市									3		
宿毛市				1	3	2	10	103	500		5
四万十市							3	1	4		
香南市	1				2		8	3	8		
本山町							1	2	14		
大豊町								2	4		1
檮原町						1		1	2		
大月町	2				3	20	4	56	108	1	14

2 高知県の避難状況（平成 30 年 7 月 24 日 8:52 時点 こうち防災情報より抜粋）

安芸市 8 人 合計 8 人

3 孤立集落状況（平成 30 年 7 月 24 日 高知新聞朝刊より抜粋）

1 地区 4 世帯 4 人

4 各市町村・奉仕団の動き 7 月 11 日（水）～24 日（火）

市町村名	ボラセン立ち上げ	状況	奉仕団
大月町	7 月 11 日（水）～ 7 月 16 日（月）終了 ※ボラセン閉所後も、28 日までの（水）と（土）にニーズのある地域へボランティアを派遣する予定（要事前登録）。	～16 日：役場職員、四万十市、土佐清水市の局長等、近隣の社協職員も活動中。スタッフは約 30 人。 18 日（水）は 33 名のボランティアが活動。対象地区は橘浦、安満地、泊浦。残り 3 日間のボランティアへの対応は社協職員で行う。	～16 日：委員長を中心にボラセン運営ボランティアとして活動中。婦人会（民生委員）のメンバーは、現地の方は現地で活動し、他の方はボラセン受付と救援、スタッフの昼食の準備等を行った。支部からの物資は、役場が手分けして配った。
宿毛市	7 月 10 日（火）～ 7 月 15 日（日）終了	～15 日：宿毛工業の学生、四万十市社協の職員など約 150 人がボランティアとして活動。大月町へボランティアを派遣している。 18 日以降は、災害救助法適用に係る生活必需品の配布世帯を再調査する。	～15 日：2 人一組で救援物資の配布を行った。委員長を中心にボランティア活動やボラセン受付の手伝いを行った。
安芸市	7 月 9 日（月）～ 7 月 14 日（土）終了	家屋の泥かき、家財の片付け等の活動内容でボランティアを呼びかけ。桜ヶ丘高校の生徒も参加している。	13 日は 7 名、14 日は 6 名がボランティアセンターの受付、ボランティアへの飲料水配布等の手伝いを行った。

大月町では引き続き「あと片付け隊」と称し 7 月 28 日までの（水）と（土）にボランティアを受け付ける予定。

高知県支部においては、7 月 23 日（月）17 時 30 分高知県災害対策本部解散に伴い、7 月 24 日（火）8 時に高知県支部救護班（県内向け）の待機を解除する。